

1 目 的

- 再生可能エネルギーの供給拡大に向けて企業局が新規電源開発を進める**中小水力発電所の適地は、中山間地域に多く存在**
一方、そうした地域は人口減少が著しく、経済基盤が脆弱で、専門的人材も得られにくいという現状
- そのため、**水力発電所立地市町村が先端技術等を活用して行政サービスを高度化し、地域課題の解決を図る取組を支援**
また、企業局として、当該市町村等と連携した事業の創出を目指す

2 概 要

交 付 対 象 業 事	市町村が実施主体となり、先端技術等を活用した行政サービスの高度化により、住民福祉の向上や経済基盤の確立など、地域課題の解決を図る事業であって、当該課題解決の効果が発電所所在地域に及ぶと認められるもの	
交 付 対 象 市 町 村	既存・着工済 (15市町村)	長野市、上田市、伊那市、辰野町、飯島町、松川町、木祖村、中川村、大鹿村、箕輪町、川上村、御代田町、 R3年度～ 飯田市、須坂市、塩尻市
	調査地点 ※	駒ヶ根市 (ほか) ※今後建設が決定した場合に対象
交 付 額	1市町村につき総額1千万円以内(定額)	
交 付 期 間	令和元年度～6年度(新規建設の場合は令和4年度までに着工するものを対象とし、交付年度から3年間は分割して交付を受けられる)	
R3当初予算	3千万円	

〔活用例〕

- ・自治体の働き方改革
- ・公営施設の管理運営
- ・物流・交通システムの構築



ドローンによる
荷物配送



タブレットを活用
した保健指導



水道施設台帳の
電子化、情報共有



自動運転実証

3 交付実績

市町村	事業名	内 容
伊那市	スマート農業技術実証事業	畑作物における育苗から耕起・播種、病虫害防除、除草、収穫・出荷までの一貫した農作業体系にAIやICT技術を活用した農業用機械を導入し実証試験
箕輪町	防災アプリ導入事業	防災行政無線を補完する情報配信手段として、住民が所有するスマートフォン・パソコン等、様々な情報端末機で利用可能なインターネット上で動作する町独自の防災アプリを開発導入